

瀬戸中だより 9月

1学期後半へ向けて 再スタート!

令和7年9月8日
発行 瀬戸中学校
校長 幸路 義文

2学期制をとる鳴門市では、これから学期末を迎えます。これまでの歩みを振り返ってみると、生徒たちは概ね落ち着いた学校生活を送っていたように思います。さまざまな行事の際には、生徒どうしが協力して、仲間のために活動する姿がたくさん見えました。授業中も各学年のどの教室においても、先生と生徒たちが真剣な表情で、毎時間の授業に向き合っている様子が伝わってきました。

とは言え、課題や伸ばして欲しい力もあるので、これから1学期末に向けて、さらなる成長をめざし、目標をしっかりと見据えた意欲的な学校生活を送ってみたいと思います。

保護者のみなさまにおかれましても、ご協力、応援のほど、よろしくお願いいたします。

住吉丸事件紙芝居復刻版朗読上演！宝塚予科練生戦没慰霊祭



8月1日(金)、鳴門海峡を臨む瀬戸町大島田の田尻浜では宝塚予科練生救助顕彰碑の前にて、「鳴門の魅力を発掘する会」の方々の主催で、予科練生戦没慰霊祭が行われました。その慰霊祭にも本校生徒たちが紙芝居上演を依頼され、当時の情景を思い返すように、遺族の方々や地域の方々へ紙芝居上演を行いました。

紙芝居の復刻に至った経緯については、旧島田小学校で引き継がれていた紙芝居が平成22年の廃校とともに原版がなくなり、昨年度、2年生の平和学習の一環で島田地域の岩本さんの協力を得て、紙芝居の復刻版を令和7年2月に完成させました。その後、校区小学校へ紙芝居の読み聞かせから始まりましたが、今後もこの地域教材となる紙芝居を是非、多くの方々へ知ってもらおうと、本校生徒で読み聞かせを継続していこうと考えています。

私たち瀬戸中学校から戦争廃止や平和への願い、助け合う心を発信することで、この地域教材を多くの方に語り継いで欲しいと思っています。そして、私たちの社会や世界において、一人一人の努力で平和への取組を自分事として実践していく必要があると感じています。

※産経新聞記者から取材も受けたので、記事もご覧ください。
「産経新聞 住吉丸事件」で検索

鳴門・板野地区中学校防犯弁論大会に参加



8月29日(金)に鳴門・板野地区中学校防犯弁論大会が、松茂町保健相談センターにて開催され、鳴門市5校・板野郡6校各中学校からの代表者11名が参加しました。本校からは、3年生の高橋彩夏さんが出場し、優秀賞を受賞しました。「決めつけない視点の先に」と題した弁論は、非行などをする人へ偏見の目で見るのではなく、寄り添い、支え合う事ができれば非行などを起こさない人になるのではないのか。人権学習などの講演会での学びを通して「誰もが生活しやすい社会づくり」に向けて、自分ができることは何かについて力強く発表しました。

教育実習が始まりました!

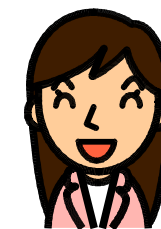
9月8日(月)より鳴門教育大学生による教育実習が始まりました。実習生さんに自己紹介をしてもらいましたので掲載します。みなさんも積極的に話しかけてください。

☆金川直央(かながわ なお)先生

鳴門教育大学から来ました、金川直央です。

担当教科は家庭科です。

2週間という短い期間ですが、みなさんと沢山関わることができたらうれしいです。よろしくお願いします!



文化祭本番に向けて全力練習中!!

9月20日(土)に瀬戸中文化祭が開催されます。校舎のあちらこちらから楽器の音色や歌声が聞こえています。また体育館ではダンスや劇の練習など残暑にも負けず、本番に向けての練習に全力で取り組んでいますので、当日はたくさんの応援をお願いいたします!

なお、9月22日(月)が代休日となっておりますので、本校では9/21(日)~9/23(火・祝日)は3連休となりますので、お知らせいたします。

ラーケーションの日(ラーニング・バケーション)周知について

令和7年6月28日より、全国の一部の自治体で学びと休暇を融合させた「ラーケーション」が始まっているのをご存じでしょうか? 事前に申請すれば、児童・生徒は保護者の休暇に合わせて学校を休めます。徳島県でも同様に、鳴門市(小・中学校)においてもこの制度が適用されています。詳しくは本校HPの「お知らせ」コーナーに資料、申請書がありますので、趣旨をご理解の上、利用される方は、学校長の承認が必要です。

申請書の提出が必要となりますので、HPから印刷するか、学級担任へ申し出てください。

(※本校HPについては、「瀬戸中学校」で検索してください。)